

平成28年4月25日15:00時点

赤書きは、前回からの変更点

平成28年熊本地震に関する宮崎河川国道事務所の活動状況

●TEC-FORCE 隊員の派遣

- ① 熊本県庁（1名）から宇城市へ移動：派遣終了：4/16～4/22
- ② 南阿蘇村（5名）：第1陣派遣終了：4/17～4/24
（5名）：第2陣派遣中：4/24～
- ③ 広報（3名）：第1陣派遣終了：4/18～4/25
（3名）：第2陣派遣中：4/25～
- ④ 緑川下流（1名）：第1陣派遣終了：4/18～4/23
（1名）：第2陣派遣中：4/23～
- ⑤ 阿蘇維持出張所（1名）：第1陣派遣中：4/23～
- ⑥ 砂防班（1名）：派遣中：4/23～

●リエゾンの派遣

- ① 阿蘇市（2名）：派遣終了：4/18～4/23（北陸リエゾンと交替）
- ② 甲佐町（2名）：派遣終了：4/19～4/23（東北リエゾンと交替）
- ③ 陸上自衛隊西部方面総監部（1名）：派遣中：4/19～
- ④ 南阿蘇村（1名）：派遣中：4/25～

●応援派遣

- ① 熊本河川国道事務所（3名）：派遣終了：4/22～4/25

●物資・機材等の支援

- ① 非常食（スティックパン300袋、ロングキープブレッド730袋）・
水（600本×21） 4/15
- ② 照明車（2台）：派遣中：4/15～
- ③ 衛星通信車：派遣中：4/16～延岡待機、4/18南阿蘇へ前進活動

【参 考】

●TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは、

■目的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ① 被災状況の迅速な把握
- ② 被害の発生及び拡大の防止
- ③ 被災地の早期復旧

●リエゾン（災害対策現地情報連絡員）とは、

フランス語で『組織間の連絡、連携』の意味。災害時に自治体との連携を密接に図るため、被災した自治体からの情報を待つのではなく、自治体へ直接派遣して被災情報を収集し、災害対策車の派遣など国から自治体への支援や復旧活動を迅速かつ円滑に行えるようにするもの。

【平成28年4月15日 1時55分出発】

●照明車2台、職員1名、災害協力業者2社4名派遣。



照明車2台、熊本へ向け宮崎河川国道事務所を出発

【平成28年4月15日 18時30分頃】

●照明車を熊本総合運動公園へ1台派遣。支援活動中。



【平成28年4月15日 14時05分出発】

●スティックパンやペットボトルなどを現地へ提供。



【平成28年4月16日 0時00分出発】

●TEC-FORCE隊員を現地へ1名派遣。支援活動中。



【平成28年4月16日 13時55分出発】

●衛星通信車を現地へ1台派遣。支援活動中。



衛星通信車、引渡場所(道の駅 北川はゆま)へ出発

【平成28年4月17日 9時30分と22時40分出発】
●TEC-FORCE隊員を現地へ9名追加派遣。支援活動中。



災害調査の実施状況(南阿蘇村)



4/17(日) 9:30頃

TEC-FORCE隊員



4/17(日) 22:40頃

熊本へ向け出発

【平成28年4月18日 7時45分出発】

●リエゾンを阿蘇市へ2名派遣。支援活動中。



【平成28年4月19日 7時45分出発】

●リエゾンを甲佐町へ2名派遣。支援活動中。



九州地方整備局
国土交通省

【平成28年4月19日】

●南阿蘇村で活動中のTEC-FORCE隊を宮崎の地からも後方支援。



宮崎河川国道からも
“現地TEC隊”を後方支援

【平成28年4月22日早朝】

●引き続き、被災地支援のため職員3名を追加派遣。



【4月22日早朝】
職員3名を被災地熊本へ追加派遣

【平成28年4月23～25日】

●引き続き、被災地支援のため職員12名を追加派遣。



【4月25日】
職員1名を南阿蘇村へ追加派遣



【4月25日】
職員3名を被災地熊本へ追加派遣



陸上自衛隊西部方面総監部に派遣しているリエゾンの活動状況